

<教育学部>幼稚園教諭一種免許状

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	「基礎教養系科目」を履修し、大学生としての教養や基礎知識を身に付ける。また、演習系科目などを通してスタディスキルおよびソーシャルスキルの基礎を習得し、保育現場の見学を行うことで園環境や幼児の実態にも触れ、幼稚園教諭を目指す意識を高める。
	後期	前期同様に「基礎教養系科目」を履修し、大学生としての教養を身に付ける。また、演習系科目などにおいてスタディスキルおよびソーシャルスキルを応用し、探求する力や表現する力の基礎を育成する。幼児教育の基本的理論・概念について学ぶとともに、幼稚園教育実習により保育について実践的に学び、教職を目指す意義について考える。
2年次	前期	「専門教育系科目」を履修する中で教育に関する基礎的な知識・技能を習得するとともに、授業内で幼児教育に関する実践の場を設け、理論と実践を関連づける。また演習や学内実習を通して、スタディスキルとソーシャルスキルを高め、現場でのフィールドワークなどにより現場から幼児や保育について考える力を養う。
	後期	前期に続き「専門教育系科目」を履修する中で幼児教育に関する専門領域を理論的に深めるとともに、保育現場でのフィールドワークや授業内で行う体験学習により実践力を育成し、現場で必要となるコミュニケーション能力を向上させる。
3年次	前期	「専門教育系科目」の履修によりこれまで学び得た知識・技能と実践力を統合し、幼稚園教育実習に生かせるようにする。実習では幼児への援助、支援、指導、環境構成などについて実践的に学ぶ。また、保育を支えるPDCAサイクルについて学び、教育における改善の視点と方法を理解する。
	後期	「専門教育系科目」を通して幼児教育に関する指導援助・支援、環境構成など、幼児教育の現場の実態を意識しながら学習することで、多様な実践に対応できる力を育成する。また、幼稚園教育実習を通して見えてきた自分自身の学習成果と今後の課題を明らかにし、それらを改善・向上させる方法について考える。
4年次	前期	卒業研究として幼児教育に関するテーマを設定し、これまで修得した知識・技能・研究手法等を活用して探究的に取り組む。また、卒業研究の発表の場や幼児教育の現場で必要となる記述力やプレゼンテーション能力を高める。
	後期	卒業研究で設定したテーマの課題解決に向け、これまで培った学びや実践体験を統合して取り組み、その成果をまとめる。また、倫理観に基づいた行動力を身に付け、幼稚園教諭に求められる資質を再確認し、保育者を目指す責任感と意欲をより確かなものにする。